

書き方の見本

## 収 支 計 画 書

## ( 収 入 )

科 目	金 額	摘 要
講座受託収入	18,670 円	
教材費	11,200 円	受講生の教材費 700 円×16
		<p>講座終了後に振り込まれる、生涯学習センターから受け取る委託料を指します。</p> <p>支出の合計 B より、実費徴収分（ここでは教材費）を差し引いた金額を講座受託収入としてください。</p> <p>受講者から実費で徴収する教材費は、講座受託収入とは別にご記入ください。</p>
合 計 (A)	29,870 円	<p>テキストを作成する場合は、消耗品費として計上してください。</p>

## ( 支 出 )

科 目	金 額	摘 要
印刷製本費(コピー代を含む)	160 円	案内ポスターカラーコピー(A3版) 80 円× 2
消耗品費	12,600 円	教材制作、資料の作成として インクカートリッジ 1050 円× 12 用紙 600 円× 2
交通費	16,000 円	1,000 円×4 人×3 日間 1,000 円×4 人×(事前打ち合わせ)1日
通信運搬費	1,110 円	ちらしの郵送 レターパックライト 370 円× 3
合 計 (B)	29,870 円	<p>交通費には、公共交通機関使用料、駐車場利用料を含みます。</p> <p>市販のテキストを使用する場合は、科目を分けて、書籍名や金額、冊数を記載してください。講師用の市販のテキストも経費として計上が可能です。</p>

※(A)=(B)

収入と支出の合計が合うように記入してください。

交通費を除き、支出の科目には、全て領収書またはレシートが必要です。